

評価項目		項	自己評価	学校関係者評価	評価点	次年度に向けた改善策	
進路指導		計画的な進路指導とキャリア教育の充実	1	キャリアウィークでは、2学年は春秋合計5日間の企業研修を行い、1学年は秋3日間の農家研修を行った。これらの研修を通して企業・農家で働くことの大切さ・達成感を学ぶことができ、協力いただいた研修先に感謝したい。また、各学年ともガイダンスや校内での説明会等に参加するなど、進路実現に向けて生徒が自ら考えることができた。	■生徒が各企業で研修を行うことができ、就職に向けた実践的な体験を積む良い機会となりました。 ■多くの研修の機会を与えていただいたことで、今後の進路を考えるうえで大きな経験になったと感じています。 ■1年生の農家研修については、春・夏・秋のいずれかの時期に2日間を2回実施するなど、季節ごとの研修機会を設けていただけると、より充実したキャリア教育につながると思います。 ■農林生は卒業後すぐ就職する生徒が多いため、早い時期から様々な職種の方や先輩の話を聞く機会、職場体験等を通して、自分の興味や可能性に気づく取組みは重要だと感じます。今後もこのような機会を積極的ににつけていただくと良いと思います。	4.7	キャリアウィーク期間の研修は、生徒の希望を丁寧に聞き、今後も継続して実施していく。地元企業を知る機会を多く設けるためにも、校外で行われる説明会に積極的に参加できるよう、生徒に情報を提供したい。農家研修は、受け入れ先が徐々に少なくなっているが、多角化させている企業等を探し、生徒の研修機会を確保できるよう努めたい。
		進路相談の充実	2	生徒と面談を行い、生徒自身の希望にあう企業や学校をともに考え、希望の実現に向けて保護者とも情報交換してきた。就職希望者には、求人票をデジタル化し保護者も見ることができるようにした。来年度に向け、進学希望者に対してICTを使った情報公開ができるよう準備している。	■進路実現に向けて、今後も生徒本人の希望に寄り添ったご指導をお願いいたします。 ■生徒・保護者の希望実現に向けてご対応いただき、ありがとうございます。ICT環境の整備につきましても、引き続きご準備をお願いいたします。 ■求人票のデジタル化は、家庭での進路に関する話し合いを進めるうえで非常に有効であると感じております。 ■希望する進路に進めるよう丁寧に指導いただいていることに感謝します。多くの選択肢の中から納得して進路選択ができるよう、引き続き支援をお願いします。	4.4	生徒の進路希望が叶うよう、生徒・担任等と連携をさらに深め、ICTを有効に活用した情報公開・指導に努める。また、企業説明会や学校説明会などを活用し、生徒の相談に対して適切なアドバイスができるよう、相談体制を整えたい。
授業展開		個に即した丁寧な授業指導	1	少人数での授業やICTの活用により、生徒の主体的・対話的な学びを効果的に促すとともに、個々の学習進度や目標設定に応じた丁寧な授業指導を着実に実践してきた。さらに、年2回の授業アンケートの実施や研究授業などを通して授業改善を重ねた結果、生徒の学習意欲の向上や学力の伸長を実感できる授業づくりを、学校全体で推進することができた。	■生徒一人ひとりに応じた授業づくりは大変なご負担かと思いますが、今後も継続して取り組んでいただけたとありがとうございます。 ■個々の学力や理解度に合わせてご対応は大変だと思いますが、その結果として学力向上につながっている点を高く評価しております。 ■少人数での授業は非常に有効であり、職業高校ならではの学習については、さらに改善・充実させる余地があると感じています。 ■授業改善による学習意欲・学力向上の取組を評価します。個々の生徒が興味を持てる授業づくりの継続を期待します。	4.7	令和8年度入学生についても、少人数によるクラス編成及び授業展開を継続する。 授業実践における効果的なICTの活用法について、校内外での情報共有や研修等を継続して実施する。 ICT環境の整備や授業改善を通して、個々の学力や理解度に応じた興味・関心を引き出す授業づくり及び学校運営を目指す。
		専門学習・資格取得の充実	2	専門学習の充実が、地域連携や課題研究の成果として現れ、地域からも高い評価をいただいた。 資格取得では計画的な展開ができ、多くの生徒が積極的に取得をしながら、将来を見据える糧となった。	■今後も、生徒が早い段階から資格取得に取り組めるよう、ご指導をお願いいたします。 ■地域連携や課題研究に主体的に取り組み、多くの生徒が積極的に資格取得を進めている点は大変素晴らしいと感じています。 ■取得した資格は生徒の自信や成長の糧となり、学習意欲にもつながる重要な要素です。バイク免許も国家資格であることから、取得に向けた自由化についてご検討いただければ幸いです。 ■資格取得は農林高校の大きな特色であり高く評価します。一方で、社会のニーズや生徒の興味に応じた資格の導入等についても、引き続き検討をお願いします。	4.7	地域行事やイベントに積極的に参加し、地域の方々との情報交換や意見交換を通じて、地域の課題やニーズを把握し、さらなる専門学習の充実に努めたい。 資格取得については、今後も多くの生徒が積極的に取り組み、将来を見据える力となるよう継続して支援していきたい。また、社会のニーズを踏まえながら、新たな資格の導入についても検討を続けていきたい。
生徒指導		基本的生活習慣等の確立	1	基本的生活習慣・授業規律の確立、問題行動の予防、交通安全意識の向上を柱に指導を行っている。ほとんどの生徒が挨拶から始まり、ルールを守り、規律正しい生活が出来ていると感じる。服装・頭髮の指導、朝の立ち番（始業式の週）、授業中の巡回指導（4月）も全職員で取り組んでいる。生徒は落ち着き、真面目に高校生活を送っている。	■日常生活のご指導は大変なご負担かと思いますが、今後も継続して取り組んでいただけたとありがとうございます。 ■挨拶がきちんとでき、礼儀やマナーを身に付けながら、真面目に学校生活を送っている様子がうかがえました。 ■バイク免許取得に向けた自由化について、ご検討いただければ幸いです。 ■制服の無い学校があることを考えると、個人的には、服装・頭髮については「他者に不快感を与えない」ことを基本とした柔軟な対応でも良いと感じます。一方、挨拶や他者への配慮など「人として大切な行動」等の育成は、引き続きお願いします。	4.6	挨拶や礼儀、態度やマナーなど社会で活躍できる人間力を今後も育てていきたい。人として何が大切かを生徒に寄り添い、ともに考えていきたい。 バイクの免許取得については、命にかかわる問題でもあるため、安易に容認することは難しい。しかし、交通の利便性も考慮して、柔軟に対応していきたい。 服装・頭髮については、学校の印象や他者への影響などを考え、責任ある行動を促していきたい。しかし、まだその力が乏しいため、現状では制服や頭髮についても指導が必要だと考える。
		個に即した丁寧な生徒指導	2	問題行動の発生時や友人トラブル、いじめなどの訴えに対し、全職員が情報共有をし、迅速かつ個々の事案に応じた的確な対応を行った。また、いじめアンケート（年2回）を実施し、安心・安全な学校づくりに努めた。	■いじめ等の問題は生徒一人ひとりで状況が異なると思いますが、今後も適切かつ丁寧なご対応をお願いいたします。 ■生徒・保護者に寄り添い、問題発生時には迅速に対応し、安心・安全な学校づくりに努めていただいている点を高く評価しております。 ■問題行動は、高校生にはある程度仕方ない面もあると思いますが、大切なのは、初期対応や生徒へのフォローだと思います。アンケート結果や保護者からのご意見も踏まえ「丁寧な寄り添い」について、対応をお願いします。	4.1	いじめは絶対に許さないという姿勢を今後も学校全体で堅持していきたい。 問題行動が起こる前に啓発活動等の予防的生徒指導を徹底しておこない、寄り添った指導を大切にしていきたい。
健康安全指導		感染症対策の実行	1	HR教室や昇降口、トイレ等校内各所に消毒用アルコールや使い捨てペーパーを設置し、また定期的に空気の検査を行い環境整備に努めた。保健委員会の校内放送を通じて生徒の予防意識の向上を図った。学校全体で行事内容を検討して予防対策をとると共に、オクレンジャーを通じて情報提供を行い、状況に応じた対策を取った。職員のインフルエンザ予防接種も積極的に行った。	■学校生活の中でインフルエンザ対策を講じていただき、大変ありがた感じしております。 ■校内連絡網等を活用した情報共有に努め、感染症対策を着実に実行していること、また職員の皆様が感染予防に取り組んでいる点を高く評価いたします。 ■感染症対策を続けることも大変だと思いますが、特にインフルエンザ等が流行している期間は、生徒にも予防対策を伝え、できる限り感染拡大の予防に努めていただくことを希望します。	4.6	感染症に関する情報収集を積極的に行い、的確に生徒と保護者に情報提供して予防対策を図る。日頃から健康生活を意識して感染予防の行動が身につくように指導する。
		安全教育の充実	2	GAP学習やHACCP学習、農業機械の授業等を通して、危険箇所の改善や危害分析および作業者の労働安全について学び、安全管理や衛生管理について理解を深め、意識を高めることができた。 教員は最新の労働安全衛生法に則ったリスクアセスメントに関する講習を受け、その実施を徹底した。生徒らにおいては、理科や農業科目の実験・実習を通して安全意識を高め、学習授業を通して危害分析及び労働安全について学び、安全管理や衛生管理の理解を深めることができた。	■安全管理や衛生管理について、今後も学習を深めていってほしいと思います。 ■事前に危険回避を図り、生徒一人ひとりの安全意識を高める指導に努めていただいた点を高く評価します。 ■労働安全や安全管理は社会で非常に重要な分野であり、なぜ必要なのか、過去にどのような事故があったのかといった背景についても理解を深めてほしいと感じています。 ■安全意識を高めるには「なぜこのような行動が必要なのか」という根本も含めて理解することが実践につながっていくと思います。応用に向けては、基礎を学ぶと共に、想像力が育つことも大切だと感じます。（生徒自身が「想像力が必要なこと」を理解できると良いと思います）	4.4	今後もGAPやHACCPの学習を継続するとともに、さまざまな場面で安全衛生教育に触れる機会を設けることで、リスク管理の重要性と必要性について、生徒自身が理解を深められるよう指導を行う。 上記に加えて、行政の定める労働安全衛生法を遵守した授業を展開していくとともに、映像教材などを活用し、危険回避の重要性や事故の危険性の根本理解につなげていく。
教育支援		生徒相談の充実	1	全職員が生徒情報を共有し、生徒保護者からの相談に丁寧に対応できた。外部専門家を交えたスクリーニング会議、支援会議等を毎月開催し、支援体制の充実に努めた。声掛けや学校生活アンケート（年2回）から困り感のある生徒を見出して、早めの対応を行った。カウンセリングは保護者も含め希望者にスクールカウンセラー事業で行っている。（6名、33時間）	■生徒・保護者からの相談に対し、丁寧にご対応いただきありがとうございます。今後も引き続きよろしくお願いいたします。 ■相談事に対してきめ細やかに対応し、さらに毎月支援会議を開催して体制の充実に努めている点を高く評価いたします。 ■全職員での情報共有と支援体制の構築は大変評価できます。併せて、日頃からの生徒との関係の中で「相談しやすい雰囲気づくり」も構築できるよう期待します。	4.4	SSW、SCをはじめ外部専門機関との連携をより深め、アドバイスをいただきながら、生徒の学校生活充実を図る。年度当初と職員会で生徒の状況を教職員間で共有し、適切な対応を心がける。アセス調査を利用するなどして生徒が相談しやすい雰囲気作りを心がけ、丁寧に対応する。
		学習支援の充実	2	特性上必要な生徒に対し、試験問題の漢字ルビ振りを行った。外国にルーツを持つ生徒に対し語学支援員をつける。ICTを活用した授業を工夫するなどの取り組みやすい内容展開を心掛けた。また、各教科ごと丁寧な補習を行い、基礎学力向上に努めることができた。	■授業についていくことが難しい生徒へのご対応につきまして、今後も引き続きご配慮をお願いいたします。 ■多様な生徒の学びを支えるために、自己肯定感を育む指導を行っていただいた点を高く評価いたします。 ■サポートが必要な生徒も増えていると思いますが、丁寧な対応に敬意を表します。基礎学力は、仕事においても重要なので、小・中学校で学び残しのある生徒への学習サポートの充実に期待します。	4.3	生徒情報の共有により個々の特性を把握し、共通の学習支援と教科毎の支援を丁寧に行うことで、生徒の自己肯定感向上を図る。安心して学習に取り組める環境を整備し、保護者の心配にも寄り添った対応ができるように努める。
		生徒の自主活動の充実	3	地区の清掃活動、地域の景観を守るための外来種駆除活動、クマ出没対策の緩衝帯整備のボランティアは例年より地域の方と交流を持ち熱心に取り組むことができた。文化祭については、今年度の文化祭はさらなる進化を遂げ、全校生徒がその才能と個性を最大限に発揮できる、熱気が満ちた舞台となった。生徒一人ひとりが輝く場が増えたことで、文化祭を機に生徒間のコミュニティは劇的に拡大した。それぞれの視点やアイデアが活発に共有され、本校の文化をより豊かに彩る源となった。	■生徒が地区活動や文化祭などに積極的に協力していることは大変良い傾向であり、今後もさらに活動の場を広げていってほしいと思います。 ■文化祭を通じて、生徒一人ひとりの自主性や創造性が高まり、互いの視点やアイデアを共有できている点を高く評価します。 ■清掃活動、外来種駆除、緩衝帯整備など、地域に根ざした取り組みはとても意義深く、素晴らしい活動だと感じています。 ■農林祭・農林市・課題研究発表などからも、生徒の自主性・主体性を尊重した指導が行われていると感じました。「自分たちの意見で実現した」「やりきった」という自慢の積み重ねが、自己肯定感や主体性・挑戦心を育てると思うので、今後もいろいろな機会を捉えての対応を期待します。	4.7	生徒が「自分たちの学校や地域は、自分たちの手により良くできる」といった手応えを持つよう、生徒が主役となる舞台をさらに広げていく。
開かれた学校づくり		学習成果の発信	1	今年度は、農林だよりのデザインを一新し、デジタル配布にも対応できるよう改善した。毎月の発行を継続し、校内行事に加えて日常の授業の様子も記事として取り上げたところ、各方面から好評を得ることができた。また、ホームページやSNSによる情報発信にも、これまで以上に力を入れた。各教科で記事を作成する仕組みを構築したことで、継続的かつタイムリーな情報発信が可能となった。さらに、今年度も本校の活動は各種メディアから注目され、新聞やテレビ番組など、さまざまな媒体で生徒の学びが取り上げられた。	■ICT機器を活用した情報発信に力を入れられ、メディアからも注目され、さまざまな場面で取り上げられたことを高く評価します。 ■メディアに多く取り上げていただくことは学校の魅力発信にもつながるため、SNS（X、Instagram など）での積極的な情報発信を期待しています。 ■HPやSNS等でのタイムリーな発信は大変だと思いますが、保護者はじめ、地域での学校理解、生徒確保の面で有効だと感じます。様々な取組を知っていただくことは、学校のアピールになり、高評価につながっていると思います。今後も継続的な取組を期待します。	4.6	本校の特色・魅力を広く伝えられるよう、今後も積極的に発信を続けていきたい。各教科で日常の授業を記事にする仕組みを構築したところであり、新年度もこの運用を継続したい。 中学校訪問では、直接的なPRや情報交換はもちろん、本校の情報発信に対する評価も受け取ることができている。今後も年2回の中学校訪問を継続したい。
		地域連携と地域貢献の推進	2	年間をとおして、充実した地域連携や地域貢献の取り組みを実践することができ、地域の話題として、マスコミ各社に多く取り上げていただいた。道の駅「ファームス木島平」での農林市も6年目となり、地域に開かれた取り組みを継続することができた。	■地域とかわりを持ちながら活動できていることは、とても意義深いと感じています。 ■年間を通して地域連携・地域貢献に取り組む、この地域にとってなくてはならない存在となっている点を高く評価します。 ■地域と連携した取組が年間で進めて計画的に実施され、単発ではなく継続的に地域に定着していることを評価します。 ■「ファームス木島平」を農林高校生の発表の場として、さらに積極的に活用していくことも有効ではないかと考えます。 ■生徒数が少ない中で、いろいろな活動をするのは大変だと思いますが、地域との関わりが生徒の「地域愛着」の醸成にもつながっていると感じます。農林生の活動で地域も元気をもらっています。農林生は地域の宝です。	4.9	今後も地域と積極的に関わりながら地域の課題を把握し、その課題に取り組める体制の構築を目指す。1年生の北信州学においては、地域との関わりを通して、生徒の心に地域連携・地域貢献の芽を育て、2年生のコース授業で知識や技術を養い、3年生での地域連携・地域貢献の実践へとつなげていきたい。